

建材 マンズリー

No.615

1

JANUARY
2017

特集

2017年 注目キーワード

好木心

日本一長い木造の三連太鼓橋
「鶴の舞橋」

注目企業を訪ねる

株式会社日本動物高度医療センター



「収益基盤の拡大」と 「事業構造の变革」を加速させる

住友林業株式会社

取締役常務執行役員 木材建材事業本部長

福田 晃久



明けましておめでとうございます。

平素は「建材マンスリー」をご愛読賜り、誠にありがとうございます。また、旧年中は格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2016年の世界経済は、中国経済の減速、英国のEU離脱問題等、不安定な状況が続きましたが、好調な米国経済が牽引し、全体としては緩やかに回復しました。11月の米大統領選でトランプ氏が勝利し、将来の不透明感は強いものの、短期的には法人税減税・インフラ投資拡大への期待感から経済面において好感されました。

国内では、円高に伴う企業収益の伸び悩みを背景とした設備投資への慎重な姿勢や輸出に弱さが見られたものの、雇用・所得環境の改善や公共投資に下げ止まり等が見られたことから、緩やかな回復基調をたどりました。

国内住宅市場は、住宅ローン金利が最低水準を更新したことに加え、相続税の課税強化等を背景に貸家の着工が特に好調であったことにより、4月以降の新設住宅着工戸数が概ね前年同月比プラスで推移するなど、持ち直しを見せました。

このような中、弊社グループは今年、「中期経営計画」の2年目に入ります。木材建材事業本部としては、

国内新設住宅着工数の中長期的な減少に備えて、既存事業の「収益基盤の拡大」と新築市場の動向に左右されにくい「事業構造の变革」を進めております。

環境・省エネ市場では、2020年の戸建住宅の省エネ基準義務化に向けて、高性能な断熱材やサッシ・ガラスの需要拡大が見込まれています。これらの商品の取り扱いを今以上に拡大するとともに、メーカー各社様と連携してZEH普及に伴う太陽光発電等の対象商品パックの提案や、各種申請サポート等トータル提案をさらに進めて、お客様のお役に立つて参ります。

中低層公共建築物を中心に木造化が進んでいる非住宅木造市場においては、昨年内にセールスエンジンアを増強し、木構造の技術提案力強化を図りました。今後は、設計事務所等への提案活動を更に強化し、弊社のオリジナル耐火構造部材「木ぐるみ」シリーズの活用を進めて具体的な案件獲得を加速させて参ります。また、耐力壁の剛性・耐力向上を実現できるポストテンション構造の実用化に向けた開発も進めて参ります。

国内バイオマス発電用の燃料市場においては、今後更なる増加が見込まれています。昨年に引き続き、今後もお客様と協力してチップやペレットの原料調達から製造、販売に至るまで、幅広い事業を展開して参ります。

海外では、中国を含めアジアを中心とする新興国において経済発展と人口増加、生活水準の向上に伴い木材・建材需要は今後ますます拡大してまいります。木材・建材の流通事業においては、シンガポールを統括拠点に、各国の現地法人や製造拠点を連携して新たなサプライチェーンを構築して参ります。これらの新興国市場に対しては、国産材や日本の高品質で機能性の高い建材の販路開拓にも取り組んで参ります。

2017年の十二支「酉」は、「取り込む」につながるといわれ、商売には縁起のいい年です。世界では既存の秩序が揺れ動き不透明さを増す一方で、新たな潮流が生まれつつあります。新しい動きや有効な情報を積極的に集めて、皆様とともに業界を盛り上げて参りたいと存じます。

そのために、全社員が一丸となり、弊社のスローガンであります「失敗を恐れずCHANGE & TRY」を実践し、木材・建材業界の未来を切り開く一助となるべく、新たな発想で事業を進めて参ります。

弊誌「建材マンスリー」は、市場動向を的確に捉え、より有益な情報を分かりやすくタイムリーに発信していきたいよう今後も精進して参ります。引き続きご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

最後に皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

2017年 注目キーワード

イギリスのEU離脱決定、ドナルド・トランプ氏のアメリカ次期大統領当選一。
グローバルで政治の嵐が吹き荒れた2016年だった。国内に目を向けると、
熊本地震や鳥取県中部地震などの災害や、デフレ脱却に足踏みする経済など
さまざまな課題に直面した一年だった。

「2017年こそは、住宅業界も含めた景気の回復と安心・安全な社会を」。
そう願う読者も多いのではないだろうか。

今号では、編集室が注目する住宅業界関連のキーワードについて解説する。

都市ガス小売りの 全面自由化

昨年の「電力自由化」に続き、2017年4月から「都市ガス」
の小売りも全面自由化される。供給を独占していた都市
ガス会社以外の事業者も、現在敷設されている導管（ガス管）
を利用してガス販売に参入でき、また一般家庭はガス会社を自
由に選べるようになる。都市ガスは1995年からすでに工場
や大規模商業施設、ホテルなどへの小売自由化が行われている
が、家庭や小口業務用にまでその範囲を広げることになる。

少子化により住宅ストックが世帯数を上回る中、政府は「い
いものを作り、きちんと手入れして、長く使う」社会に
移行することを重要とし、既存住宅流通の環境整備を進めてい
る。既存住宅の流通を後押しする方法の1つであるスマートリ
ノベーション。中古住宅や空き家に対しICTやIoT技術を付加
し、住む人のニーズに合う住まいとなるよう新たな価値を創出
する。次世代の不動産再生の方法として期待が寄せられている。

既存住宅流通

VRシステム

VR（バーチャル・リアリティ）とは、「本物ではないが、本
物と同じ本質あるいは効果を備えているもの」のことを
いう。3D映画などですすでにおなじみだが、ここ数年、より身
近な存在になってきた。エンターテインメント、医療、職業
訓練、プレゼンテーションなど、さまざまな分野での活用が
進んでいる。建設業界では住宅プレゼン用のVRシステムの販
売が伸びており、工務店の受注獲得の後押しをしている。

都市ガス小売りの全面自由化

電力会社などが一般家庭への販売を検討

ガスシステム改革で 家庭の都市ガスも自由化

国が進める「エネルギーシステム改革」の一環として、電力にひき続き今年4月から都市ガスの小売りも自由化される。将来的には他業種からの新規参入により縦割り市場の垣根を取り払い、総合的なエネルギー市場を創り上げるということも視野に入れている。

「改革の目的は、利用者の選択肢を広げ、事業者の事業機会を拡大し、新規参入などによる競争で料金が抑制されること。加えてエネルギーの安定供給確保です」（外園尚氏）

家庭で使われているガスは大きく二つに分類できる。液化した石油ガス（LPG）がボンベに入った通称プロパンガスと、液化天然ガス（LNG）を基地に貯蔵し、そこから気化したガスを導管で供給する都市ガス。小

売りの全面自由化で、新たに開放される市場規模は約2・4兆円、契約数は約2600万件である。

自由化に伴い、都市ガス供給の仕組みも大きく変わる。まず、都市ガス小売りの地域独占は撤廃され、ガス小売事業は登録制となる。料金規制は一部を除いて廃止され、自由に料金設定できる。地域のガス会社が所有するガス導管は、すべての事業者が共同利用できるよう保証する。

課題はガスの卸供給の活性化や 導管網整備などがある

「都市ガス事業は、液化天然ガスを調達・輸入するLNG基地の製造部門、ガスを運ぶ導管部門、そしてガスを販売する（小売部門）の三つに分かれます。ガス管を所有する導管部門は独占を防ぐため託送料などに関し料金規制は引き続き残します。小売部門は、大手3社を含めた一般

ガス事業者12社*₁について、供給エリアでのシェアや顧客獲得能力などによる基準に基づき規制料金を継続する経過措置を取ります。またガス導管の5割を所有する大手3社*₂については、2022年までに導管部門と小売部門を法的に分離します*₃」

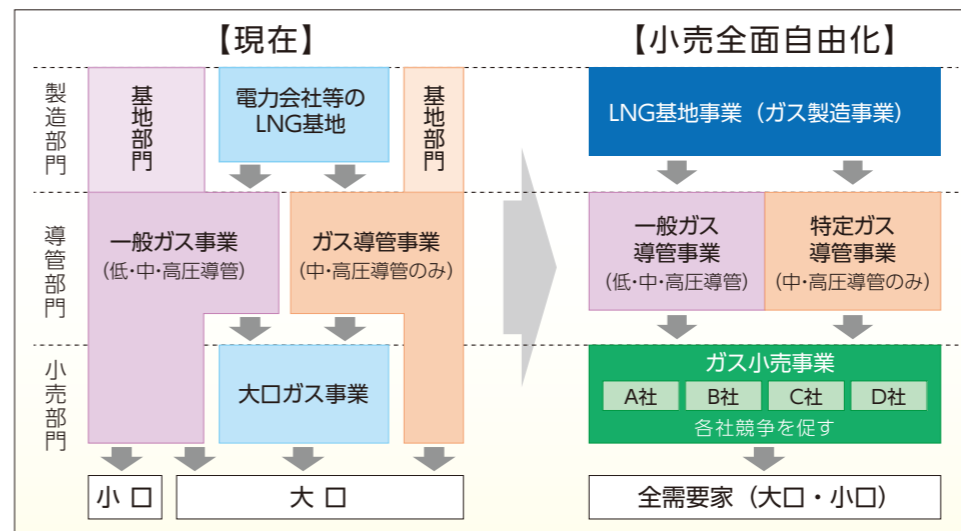
経済産業省へのガス小売事業者登録申請は2016年12月13日現在8社。電力自由化に比べて参入企業の出足が悪いのは、ガス事業者が持つ特殊な環境が理由だと思われる。

一つはガス機器の定期点検など、安全業務のハードルが高い。また、電力の場合と異なり卸市場がない。ガスの卸取引が活性化される余地がまだあるということだが、このような事情から、新しく都市ガス事業を始める事業者などは、参入しづらいという面がある。加えて、導管網の整備が遅れているため、広範囲にガスを届けられない*₃などだ。

「ガスの卸供給の活性化も議論の余地があると考えています。また、広域での導管整備についても、今後検討していく予定です。全面自由化を機に、エネルギー事業を活性化していただきたいと願っています」

*1 大手事業者から導管を借りてガスの輸送を託すこと
*2 大手3社（東京ガス、大阪ガス、東邦ガス）、中小9社（仙南ガス（東北）、京葉瓦斯（関東）、京和ガス（関東）、日本瓦斯（関東）、熱海瓦斯（関東）、河内長野ガス（近畿）、浜田ガス（中国）、エコア（九州）、南海ガス（九州））
*3 都市ガス導管網の整備はまだ国土の6%弱で、長距離ガス導管の整備も遅れているため、地方での新規参入が難しい。導管は都市部に集中しているため供給帯の約67%をカバーしている

都市ガスの小売り全面自由化にともなう事業区分の変更



出所：資源エネルギー庁

既存住宅流通

スマートリノベで 住まい勝手のよい住宅へ再生

ラベリングによって 住宅選択の判断を容易に

国土交通省は既存住宅流通の促進に向けて「良質住宅ストック形成のための市場環境整備促進事業」で、39の事業者を採択した。その一つである次世代不動産業支援機構では、「スマートリノベーション」の実用化に向け

た実証事業をスタートさせている。「そのままでは流通が困難、あるいは住まい勝手の悪い既存住宅に対し、ホームセキュリティサービスによる安心安全や、HEMSによる省エネなど、ICT・IoT₂技術を活用して新たな価値を付加することを『スマートリノベーション』といいます。こうして再生された既存住



一般社団法人次世代不動産業支援機構
代表理事
三津川 真紀氏

宅を『スマートリノベーション』と定義し、昨年より当機構において検討と推進を図っています」（三津川真紀代表理事）

また、消費者がその価値を理解しやすく、住宅選択の判断が容易になるよう、住まい勝手を可視化するためのラベリングも行う（図）。

優遇ローンの開発で 既存住宅の持ち家化を促進

中古住宅や空き家の流通促進を図るためには、住まい勝手よく再生するだけでなく、持ち家化を後押しする仕組みづくりも不可欠だ。そこで同機構では「買取優先権付きスマートリノベーション」として優遇ローンを開発し、頭金や与信などの問題で住宅の購入がすぐには難しい消費者を支援していく。

「これは、スマートリノベーションをまずは戸建賃貸住宅として賃貸し、入居後5年を経過して一定の期間内

に購入を検討すれば、この物件の購入に限って融資を可能にする仕組みです。将来的に持ち家にできるため、入居者も住まいに対してより愛着が持てるようになることで、定期的なメンテナンスを促し、良質な住宅の維持保全につながります。同時に資金面で住宅購入のハードルが高い若年層や子育て世帯、さらに移住者に対する住宅の取得を支援する新たな住宅金融商品として、地方創生にも大いに貢献できるはずです」

2016年度は、秋田市で1棟、富山市で3棟の実証を開始。2017年度は、札幌市や仙台市でも進めていく予定だ。「今後、スマートリノベーションの流通を促進していくには、既存のICT・IoT技術をパッケージ商品化して導入しやすくすることで、住まう人のニーズに応えるスマートリノベーションを追求していくことが不可欠です。住宅事業者の皆さんには、こうした仕組みに対する理解とともに導入の受け皿を準備しておいていただきたい。投資対効果の高いスマートリノベーションとスマートリノベーションが一般化されることで、既存住宅の流通はよりスピーディーに促進されていくと期待しています」

*1 ICT:Information and Communication Technologyの略。通信技術を使ったコミュニケーション
*2 IoT:Internet of Thingsの略。さまざまなものがインターネットにつながり、情報のやりとりを行うこと

スマートリノベーション住宅のラベリング



星の数でシステムやサービスのレベルが一目で分かる

★★★★★ … 最高レベル
★★★★ … 標準レベル
★★★ … 簡易レベル
なし … 導入していない

スマートリノベーション住宅ラベル〈例〉

★ 暮らしの安心・安全
防災や防犯に効果があるシステム
例) 防犯カメラ、ホームセキュリティ

★ 暮らしの快適・便利
家事を便利にする、趣味をより楽しめるサービス
例) 無料WiFi、タブレット

★ 環境への配慮
CO₂の排出削減など、地球環境に優しいシステム
例) 高断熱

★ 住まう人の健康
健康管理、地域医療との連携に役立つシステム
例) 見守りシステム

★ 経済的な生活
省エネ・ゼロエネ（光熱費の削減）を実現するシステム
例) HEMS

VRシステム

新展開を見せ始めたVRビジネス

VR新時代の到来

2016年は、VR(バーチャル・リアリティ)に対応した高い解像度と広い視野角を持ったゲーム用HMD(ヘッド・マウント・ディスプレイ)*1が相次いで発売され、「VR元年」といわれた。ただ、HMDはすでに50年ほど前に考案され、VRという言葉は1989年頃には世の中に登場



HMDの写真イメージ

*1 2016年はフェイスブック傘下のオキュラス、台湾のスマートフォン大手HTC、そしてソニーが一般向けに高性能HMDを相次いで発表した

している。30年にわたりVRの開発に携わってきた神部勝之氏によれば、一般の人の手が届くHMDが販売されたことが「元年」であり、昨年は「新たなVR時代の到来」と理解できる。そして、その時代に対応するには、まず定義を認識すべきだという。

「バーチャルの意味は本物ではないが、本物と同じ本質を持つものであり、本物に似せた偽物でも、仮想でもありません。例えば、バーチャルマネーはお金と同じ、物を買える機能を持っています。そのような意味で使わないと、世界の共通認識とはかけ離れてしまいます」

**工務店の受注を促進する
バーチャル・モデルハウス**

VRシステムはゲームなどのエンターテインメントだけでなく、あらゆる産業で活用が試みられている。建設業界で実用化が進んでいるのは

住宅業界で、顧客へのプレゼンテーション用として活用され始めている。住宅プレゼンシステム会社と連携し、バーチャル住宅展示場作成システム「ALTA for VR」を開発。2015年から販売を開始した。住宅の3Dプランをプロジェクトから壁と床に投影することで、実物大のバーチャル空間を作り出し、3Dメガネを装着した顧客に立体的な完成イメージを体感してもらおうものだ。

「地方の工務店に大変評判が良いと聞きます。モデルハウスを持つにはコストがかかりすぎるが、このシステムなら比較的lowコストで、無限のモデルハウスを手に入れられ、他社との差別化もできる、というところが受け入れられているようです」

住宅用VRシステムは図面やパースでは伝わりにくい吹き抜けや収納等もイメージできるようになり、施工後のトラブル防止につながる。ま

株式会社ソリッドレイ研究所
代表取締役社長

神部 勝之氏

た、白い壁と床さえあれば設置場所を選ばず利用でき、リアルタイムで間取りの変更や、内外装材・床材の変更も可能だ。このときのスピード感が、VRでは重要だという。

「CAD図面で窓の位置を変えたら、1秒以内でVR空間に変更が反映されます。また、1mのものは1mに見えるよう実寸表示し、お客様が立つ床とCGの床の高さを一致させています。そのため地に足がつかず、まるでその場にいるように感じることもできます」

VRシステムとしてはそのほか、企業内教育・訓練での利用も盛んだ。例えば高額な機械の作業訓練をVR空間で行う、危険な箇所の定期点検をVRで事前確認するなど、コストを大幅に削減する。今後は実務でのVR利用が急速に増えていくと予想される。



(株)コンピュータシステム研究所と同社の共同開発「ALTA for VR」を体験

日本一長い 木造の三連太鼓橋 「鶴の舞橋」



写真提供＝鶴田町役場産業観光課

津

軽西北エリアの水田や生態系を守ってきた用水池、廻堰大溜池まわりせきのおほいけ。青森一の高さ広い裾野をもつ岩木山いわぎやま（別名・津軽富士）を湖面に映し出すことから、津軽富士見湖とも呼ばれている。その美しい湖面にさらなる神秘を演出する「鶴の舞橋」。「富士見湖パーク」と諸外国の丹頂鶴を譲り受け飼育している「丹頂鶴自然公園」を結んでいる木造の三連太鼓橋だ。そのぬくもりのあるアーチは、つがいの鶴が飛翔する姿をモチーフとしている。

美しい景観に溶け込む橋にするため木造にこだわリ、すべて青森県産ヒバの一等材を採用。日本三大美林の一つである青森ヒバは、「ヒノキチオール」「ボードラプリン」という2種類の強い抗菌成分を含む世界でもまれな木であり、湿気に強く腐りにくいことは弘前城や平泉中尊寺金色堂などですでに証明されている。その特性を生かして水位の変動が激しい橋脚部分には、樹齢150年以上の青森ヒバを700本使用している。

湖の兩岸を結ぶ橋は、長さ300m、幅3m、橋脚の直径は30cm。青森ヒバの使用量は丸太3000本、板材3000枚にものぼる。4LDKの家が約30棟建てられるほどの材は、容易に津軽で集められる量ではなかったため青森県全域に調達範囲を広げ、たくさんの人々の協力により集めた。こうして、日本一長い木造の三連太鼓橋は3年の工期を経て平成6年に完成した。

四季に色づく岩木山をバックに飛翔する鶴の姿のほかにも、朝日を背景にした幻想的な景色、夕日で染まった真っ赤な湖面に沈む橋のシルエットも印象的。冬になれば雪が積もり、湖面は真っ白に染まる。鶴と国際交流の里・鶴田町のシンボルとして、季節の移り変わりの中で多くの人に愛されている。

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

「2017年度は東京、2018年度は大阪に開院を予定しています。将来的には全国に展開していくことが目標ですが、そ

「これまでなら一次診療施設では手の施しようがなかった症例も、同院に紹介できることで医療の質向上にもつながっている。地域の獣医師の理解が深まったことは、現在連携している一次診療施設が3000軒を超えることから明らかだ。

「開院当初は、やがては一次診療に乗り出すのではないかと地域の動物病院から懸念をもたれていた時期もありました。何度も説明会を開き、当院の理念を地道に説明し続けることで、地域の獣医師の皆さんに受け入れていただいた形です。一次診療施設の大きな収入源である予防接種を当院では行わないなど、役割分担を明確に打ち出した点もよかったのではないかと思います」

「同院のもう一つの特徴が、地域の動物病院との競合を避けるため、一次診療施設から紹介されたペットのみを受け入れていること。ペット医療も人間の病院のように、地域の診療所と大規模総合病院が役割分担し、連携が確立されるべきである。しかし、周囲の動物病院から風当たりが強い時期もあった。

地域の獣医師と連携を図り日本のペット医療の底上げを目指す

上場による攻めの経営で急成長する民間で唯一の犬猫専門高度医療施設



代表取締役社長

平尾 秀博 氏

本社 ● 神奈川県川崎市高津区久地2-5-8
創業 ● 2005年
資本金 ● 3億3,313万円
従業員 ● 167名
事業内容 ● 二次診療専門動物病院の運営など

飼い主のニーズを捉えペットへの最先端医療を提供

「2015年3月、動物病院としては日本初の株式上場を果たした日本動物高度医療センター。2007年の開院以降右肩上がりで業績を伸ばし、2016年3月期売上は20・9億円にものぼる。上場で知名度アップによる優秀な人材確保も狙いながら、攻めの経営を進めている。

「当院の最大の特徴は、二次診療に特化した専科診療を行う総合的な動物病院であることです。一次診療がかりつけ医の幅広い診療であるのに対し、脳神経科や泌尿生殖器科、腫瘍科など複数の診療科をそろえる二次診療動物病院は、当院以外のほと



動物病院向け見守りシステム「CLAIRVIO」でペットの状態を確認



手術中(開心術)の様子



最先端の医療機器で放射線治療を受けている犬



多摩沿線道路に面し、東急田園都市線・二子玉川駅から徒歩で約5分の立地

ここが注目ポイント

動物病院初の上場を果たし医療の質向上と攻めの経営を両立

高度医療を行う二次診療に特化し地域の病院との共存を図る

人材確保のため大学病院レベルの教育制度を確立

「これは大学付属病院です。休診日があるこれらの病院との差別化として、365日年中無休で受け入れ態勢を強化しています」

「同院の急成長を支える背景にあるのが、飼い主の潜在的ニーズだ。ペットは今や家族の一員であり、人間並みのお金をかけることが珍しくはなくなっている。大切に育てられることで寿命も延びている一方で、ペットの高齢化は様々な疾患をもたらす。そんなとき、家族の一員に対し治療費を惜しまず救いたいと考える飼い主が増えているのも不思議ではない。

「現在、当院における1症例あたりの平均治療費はおよそ36万円となっています。先進医療設備を使って検査を行い、一次診療では手の施しようがなかった疾患に対しても投薬や手術などの治療を行っていただくための費用はかかります。飼い主さんにはその旨を必ず事前に提示していますが、ペットを救いたいと受け入れる方が増えています」

「しかし、日本では高度医療に対応する動物病院は圧倒的に不足している。獣医科大学付属病院は、全国にたった16しかない。また、そのうち関東に5病院が集まるため、対応ができない都道府県がほとんど。平尾氏は、そんな動物医療の環境を変えたいと語る。

「ここで課題となるのが人材の確保。毎年およそ1000人の学生が獣医師試験に合格していますが、小動物臨床を手がける獣医師になるのは約半数で、あとは一般企業の研究職や公務員に就いています。人材確保のためには、当院が彼らにとって魅力的でなければならない。そこで、卒後の臨床研修において大学病院と同等である『小動物臨床研修診療施設』の指定を民間で初めて取得したほか、2年かけて複数の専門科で診療から手術までを学べるなど、独自の研修プログラム制度も採用しています」

「上場企業としての利益追求と、医療の質向上のバランスを取ることは、容易ではないように思える。しかし、1頭でも多くの動物の命を救うためにベストを尽くしながら、医療の品質とサービス業としてのホスピタリティを追求し、飼い主および一次診療施設の満足度を高めることができれば、結果として利益を上げることができると平尾氏は言う。

「新規事業として動物医療関連の物品販売やITインフラ整備などにも挑戦しており、マイク口波により動物の心拍や呼吸を監視できるオリジナルの非接触型見守りシステムなども販売。動物に優しく、多忙な獣医師の負担も軽減するシステムの開発に努めています。今後も、日本のペット医療の水準を高めつつ、その環境全体を底上げすることに貢献していきたいですね」

株式会社日本動物高度医療センター

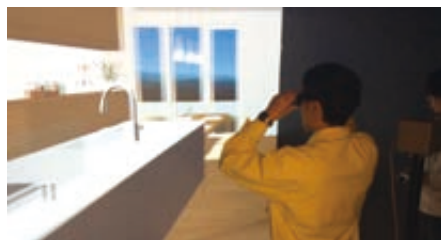
未来の自分の住まいを疑似体験 VRシステムをショールームに導入 —住友林業

住友林業は住宅事業本部の札幌支店ショールームに、VR(バーチャル・リアリティ)で未来の自分の住まいを疑似体験できる新システムを導入した。実寸大のVR体験で、「イメージ通りに家を建てたい」「どのような家になるのか知りたい」という顧客の要望に応える。特別な設備を備えたスタジオではなく、打ち合わせの場であるショールームでVR体験ができるようになった。

3Dプロジェクターで、タテ・ヨコ各約3mに投影し、壁面および床面を継ぎ目なく表示することで家に入り込んだ感覚を味わえる。体験者は3Dメガネをかけ、ゲームパッドで簡単な操作を行う。すると家の中を自由に動き回る感覚で、平面図からはわかりにくい部屋の奥行き、広さ、キッチンの高さなどを体感できる。

全体像をイメージしやすいVRシステムで、顧客に家づくりを楽しんでもらうと同時に、独自の設計システムとのデータ連携により、計画中のプランを視覚化してわかりやすく提案。プラン・見積もりなどの変更にもすぐに対応できるのが特徴だ。

2017年1月より千葉・横浜の両支店に導入し、他都市部の拠点に順次展開する予定。



わが社のイチオシ

物流管理のクラウドサービスで 初期費用のかからないシステムを構築

わが社のイチオシは物流管理システムの「日新SCMソリューション」です。私は総合物流会社の木材・建材部門に所属し、木材建材を購入(調達)しているお客様の物流を請け負っています。この業界では、手書きの発注書をFAXで送る商習慣がまだ残っており、文字の読み間違いなどが起こりがちです。そこで在庫管理にいろいろな機能を付加した「日新SCMソリューション」の導入をご提案しています。

これはクラウドサービスなので専用ソフトの開発が不要で、初期コストがかかりません。また月額使用料は固定で、お客様の事業内容に沿って機能をカスタマイズできます。

例えば輸入製品を取り扱うお客様では、入港予定の管理機能や許可証の通知機能により、つねに貨物の状況を確認していただけます。さらに海外からの英文

株式会社日新 関西支社 大阪営業第2部 営業第2課 とおぼえ やすとも
問覚 靖友さん

オーダーを翻訳する機能も追加できます。また、パソコンを使うことで読み間違いが減り、記録データとしても残るため、データの一括管理が可能になります。そして複数の担当者がアクセスできるなど、お客様だけでなく、自社の事務作業の効率化にもつながります。

販売をスタートしてから3年ほどですが、徐々にご理解をいただき、導入件数も増えています。



編集室より

- 弊社ホームページに特集ページのみを掲載中です。
<http://sfc.jp/mokuzai/kenzaimonthly/>
- 広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。
kenzai-monthly@sfc.co.jp

住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業企画部

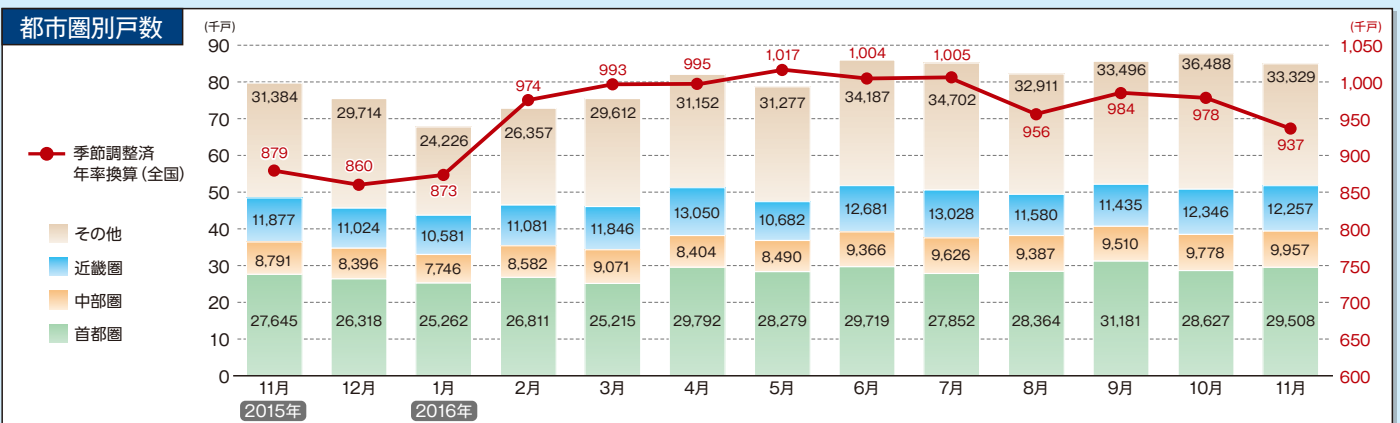
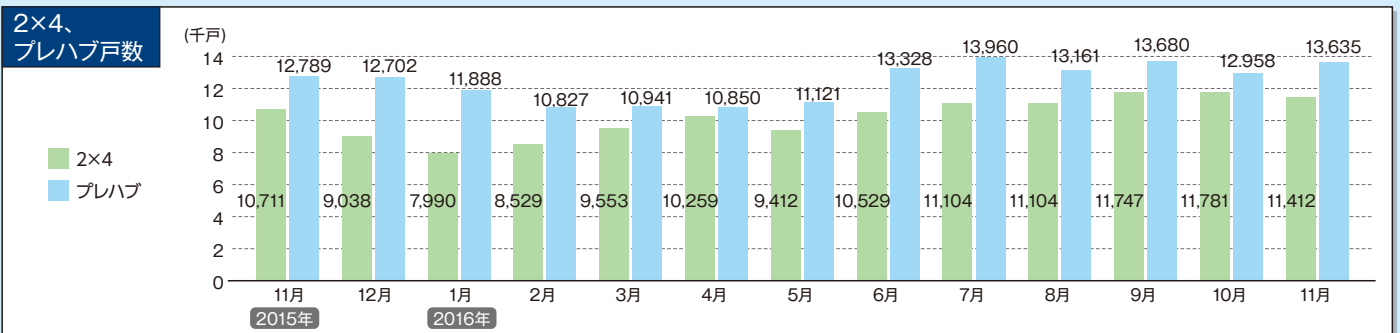
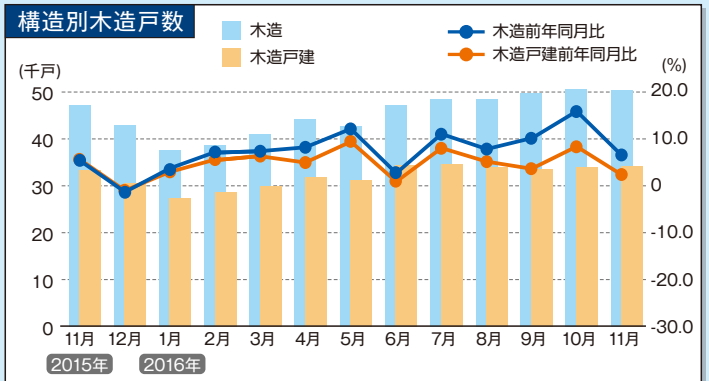
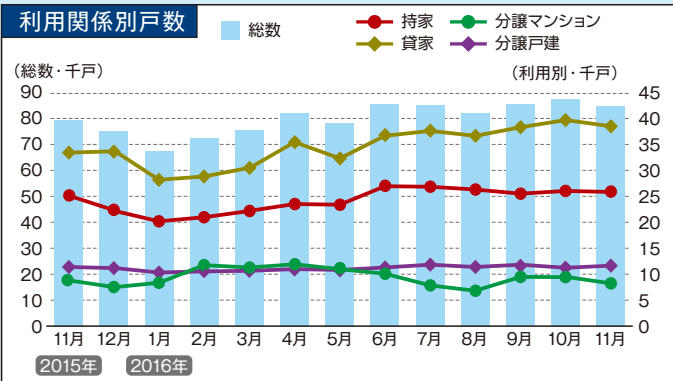
新年おめでとうございます。澄み渡る晴天の中2017年も初走りでスタートしました。「前年よりも長く走れば良い年になる」と始めた元旦の願掛けRUNは4年目に突入し、今年は20km。あくなき執念で着実に距離を伸ばしております。建材マンスリーも担当してから丸1年が経過し、マラソンなら体が温まってきたところです。より良い情報誌になりますようギアチェンジしてまいりますので、今年も引き続きご愛読のほど、お願いいたします。(M)

表紙：住友林業(株)住宅事業本部 信州支店 松本南展示場

* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

2016年11月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		11月				10月	9月	8月	
		対前年同月比		対前々年同月比					
新設住宅計		85,051	5,354	6.7%	6,687	8.5%	87,239	85,622	82,242
建築主別	公共	812	▲139	▲14.6%	▲777	▲48.9%	1,955	1,095	1,512
	民間	84,239	5,493	7.0%	7,464	9.7%	85,284	84,527	80,730
利用関係別	持家	25,993	683	2.7%	1,531	6.3%	26,046	25,573	26,341
	貸家	38,617	5,112	15.3%	5,962	18.3%	39,950	38,400	36,784
	給与住宅	314	▲65	▲17.2%	▲933	▲74.8%	661	310	608
	分譲住宅	20,127	▲376	▲1.8%	127	0.6%	20,582	21,339	18,509
	うちマンション うち戸建	8,263 11,683	▲617 212	▲6.9% 1.8%	▲992 1,081	▲10.7% 10.2%	9,008 11,294	9,502 11,600	6,815 11,401
資金別	民間資金	76,441	5,230	7.3%	6,166	8.8%	77,476	77,555	73,300
	公的資金	8,610	124	1.5%	521	6.4%	9,763	8,067	8,942
	公営住宅	419	▲261	▲38.4%	▲736	▲63.7%	1,289	654	1,000
	住宅金融機構融資住宅	3,874	37	1.0%	411	11.9%	4,310	3,743	3,740
	都市再生機構建設住宅	303	93	44.3%	▲72	▲19.2%	330	238	296
	その他住宅	4,014	255	6.8%	918	29.7%	3,834	3,432	3,906
構造別	木造	50,628	3,143	6.6%	5,527	12.3%	50,929	49,733	48,717
	非木造	34,423	2,211	6.9%	1,160	3.5%	36,310	35,889	33,525
	鉄骨鉄筋コンクリート造	456	259	131.5%	40	9.6%	172	394	181
	鉄筋コンクリート造	18,312	1,473	8.7%	▲244	▲1.3%	20,427	19,871	17,437
	鉄骨造	15,539	481	3.2%	1,379	9.7%	15,553	15,397	15,796
	コンクリートブロック造 その他	48 68	▲4 2	▲7.7% 3.0%	▲12 ▲3	▲20.0% ▲4.2%	97 61	86 141	60 51



(出所：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

美を極めた床

細部までゆき届いたこだわり、幅広デザインと美しい木目の装い。
そして美を保つ機能性が、三位一体となり美しい空間を作り出します。

美は細部に宿る

時を経ても美しく

美しさ広がる

Trinity

トリニティ

美は細部に宿る

エッジにまでゆき届いた
美しさへのこだわり。

四周木口面へ化粧を施す
革新的な技術(特許取得済)により、
目地という細部まで美しく。

美しさ広がる

空間の美しさを広げる
ワイドサイズ & 7カラー。

178mm

時を経ても美しく

いつでも、いつまでもキレイ。
美しさを守るための強さをまとう。

日焼け

キズ

汚れ

大建工業株式会社 本社/大阪府大阪市北区堂島1丁目6番20号(堂島アバンザ22F)

DAIKENの製品を見て触れて選べるショールームへ、ぜひ、お越しください。
専任スタッフが、これからの豊かで快適な住まいづくりをサポートいたします。
全国のショールーム 札幌、仙台、新宿、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡



左記のQRコードより、
スマートフォンで各種情報をご
覧になれます。

各ショールームのご案内は

DAIKENショールーム

検索

<http://www.daiken.jp/sr/>

建材マンスリー
NO.615
JANUARY
2017

1

昭和39年8月創刊 第53巻 平成29年11月1日発行(毎月1日発行) 通巻615号
発行人/福田 晃久 発行所/建材マンスリー編集室 〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2(経団連会館)
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業企画部

TEL 03-3214-3280 FAX 03-3214-3282